

シンポジウム：細胞アッセイ技術の現状と将来

2017年1月31日(火)

東京大学生産技術研究所コンベンションホール

主催：細胞アッセイ研究会

共催：公益社団法人化学工学会バイオ部会

国立大学法人東京大学生産技術研究所

独立行政法人産業技術総合研究所創薬基盤研究部門

協賛：一般財団法人バイオインダストリー協会（予定）

一般社団法人化学とマイクロ・ナノシステム学会

NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議

日本動物実験代替法学会

特定非営利活動法人エイチ・エー・ビー研究機構

公益社団法人日本生物工学会セルプロセッシング計測評価研究部会

日本薬物動態学会（予定）

情報計算化学生物学会

ヒト細胞からいかに *in vivo* 機能を引き出すかは、細胞アッセイにおける究極の課題であります。その方法論は大きく分けて、1) 細胞自体の機能を向上させる、2) 培養技術によって機能を誘導する、の2つに分けられます。1)に注目が集まっている中、当細胞アッセイ研究会では2)に注目して活動して参りました。本年度のシンポジウムでは、原点に戻って、既存のヒト細胞を3次元培養、あるいは精密共培養することにより、どれだけ *in vivo* 機能が誘導できるのか、さらにはその機能をどれだけ長い期間維持できるかについて、基調講演を元に議論してみたいと思います。

また、例年通り細胞アッセイ技術全般に関する一般研究発表をポスター形式で募集いたします。

沢山の皆様の研究発表のお申し込み、ご参加をお待ち申し上げます。

なお、本研究会の活動につきましては、<http://www.jssx.org/nl-30-3/signpost-1/>をご参照下さい。

組織委員

石田 誠一 (国立医薬品食品衛生研究所), 加藤 将夫 (金沢大学医薬保健研究域), 柿木 基治 (エーザイ), 金森 敏幸 (産業技術総合研究所), 清川 順平 (中外製薬), 小島 肇 (国立医薬品食品衛生研究所), 小林 英毅 (第一三共), 斎藤 幸一 (住友化学), 酒井 康行 (東京大学大学院工学系研究科), 薩川 正広 (科研製薬), 清水 秀忠 (日本ベーリンガー・インゲルハイム), 杉浦 慎治 (産業技術総合研究所), 平林 英樹 (武田薬品工業), 山田 泰弘 (日本薬科大学), 山下 伸二 (摂南大学薬学部)

プログラム

9:50 開会の挨拶

10:00 肝細胞の長期維持培養系の開発と応用

大阪市立大学大学院医学研究科 辰己 久美子

10:40 医薬品アッセイへの応用を目指した3D培養の取り組み

大阪大学大学院工学研究科 松崎 典弥

11:20 パターニング培養・スフェロイド培養を用いた肝細胞の機能発現

北九州市立大学国際環境工学部 中澤 浩二

～ 昼食 ～

- 13:00 初代がん細胞三次元培養法の開発と生細胞利用システムの構築
大阪府成人病センター 井上 正宏
- 13:40 細胞群の調製とアッセイ系への展開
大阪大学大学院工学研究科 紀ノ岡 正博
- 14:20 バイオ 3D プリンティング技術による機能的三次元組織構築
株式会社サイフューズ 木澤 秀樹
- 15:00 ポスター発表 (於 ロビー)
- 17:30 懇親会 (於 ロビー)

一般演題募集

ポスター発表で募集いたします。発表申し込みは、タイトル、全発表者名と所属、連絡担当者名と e-mail アドレスをご記載の上、メールで下記問い合わせ先までお願いします。締め切りは 11 月 20 日(日)です。また、12 月 4 日(日)までに要旨(A4 で 1 枚、カメラレディ)を提出して頂きます。

参加申し込み

事前申し込みをお願いします。一般演題に申し込んだ方も、参加申し込みが必要となります。参加者のお名前、ご所属、e-mail アドレス、ご住所および懇親会参加の有無を記載し、メールで下記問い合わせ先までお申し込み下さい。折り返し、お支払い方法等をお知らせ致します。

参加費	5,000 円
懇親会	5,000 円

問い合わせ先

国立研究開発法人産業技術総合研究所創薬基盤研究部門
金森 敏幸
TEL 029-861-6286
e-mail: t.kanamori@aist.go.jp